

旭川ダムの洪水調節効果について

平成30年7月5日から9日にかけて、前線による降雨に対して、旭川ダム洪水調節により下流河川の水位を低下させました。

旭川ダム位置図

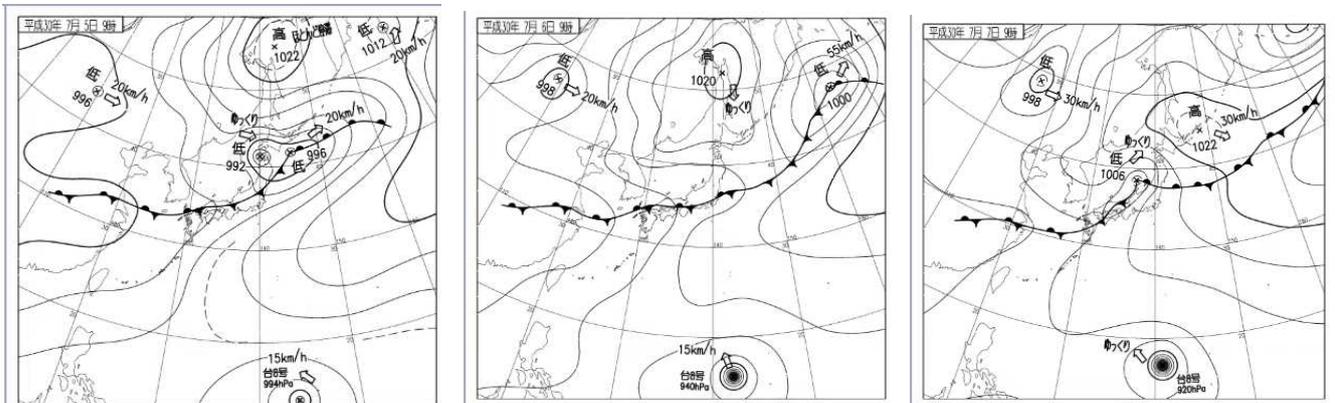


洪水の原因となった降雨の概要

7月5日から9日にかけて、前線が西日本に停滞し前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり岡山県各地で激しい雨が断続的に降り大雨となった。

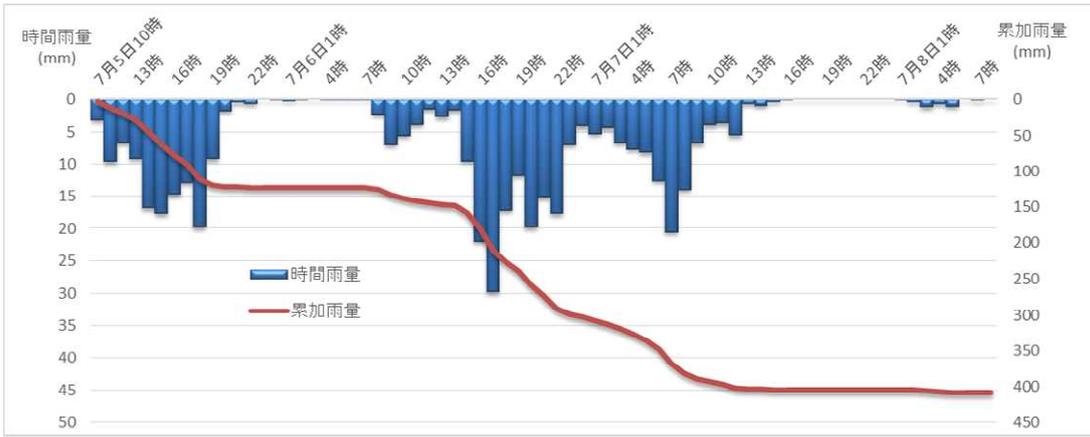
○旭川ダム流域平均雨量 416mm(7月5日4時～7月9日4時)

気象庁-天気図 7月5日9時～7日9時

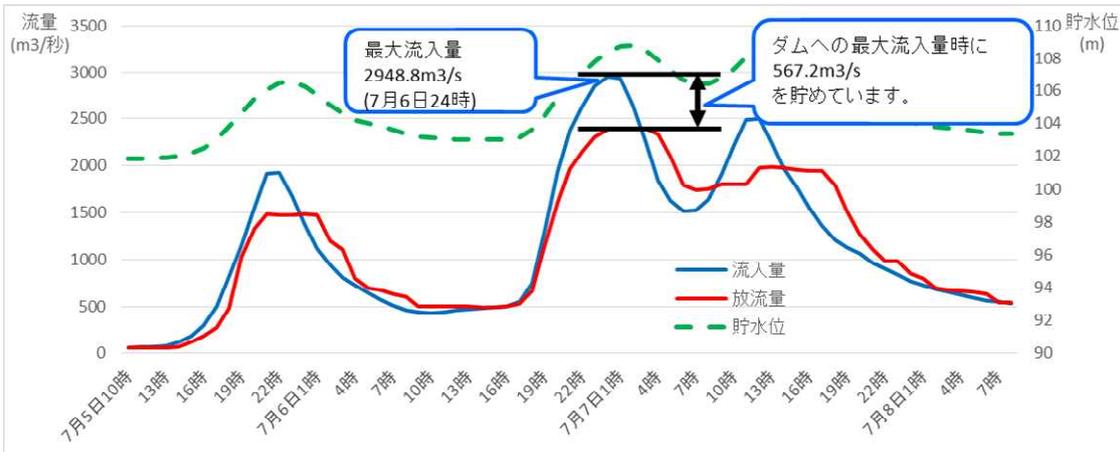


旭川ダム ハイドロ・流量

旭川ダム上流での降雨状況

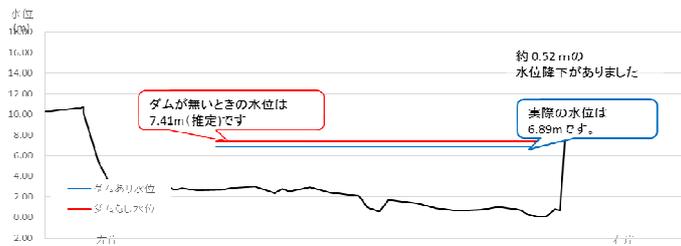


旭川ダムへの流入状況ならびに放流状況



金川大橋 水位低減効果

金川大橋(岡山市北区金川)において、約0.5mの水位低減効果がありました。



牧山水位観測所 水位低減効果

牧山水位観測所(岡山市北区牧山)において、約0.4mの水位低減効果がありました。

